

ふくやま美術館友の会では、美術館をもっと楽しみたい方のために、ミュージアム・パスポート会員を募集しています。当美術館の所蔵品展がフリーパスになるほか、いち早く情報入手できる催し物案内の送付、ショップやカフェでの割引など、さらに美術館を身近に楽しんでいただける特典がいっぱいです。

- 年会費 一般会員 3,000円 / 学生会員 1,500円 / 特別会員 10,000円
- 特典 所蔵品展及び特別展無料鑑賞（※会員ごとに無料回数異なりますが、例えば一般会員の方は特別展が年4回無料になります。）美術館に関する情報提供、当館ミュージアムショップやカフェの割引、提携する美術館観覧料の割引など。
- お問合せ ふくやま美術館友の会事務局 084-932-2345



インフォメーション

山陽自動車道福山東インターから車で20分

◎ふくやま美術館（JR福山駅北口から西へ400m）

〒720-0067 広島県福山市西町二丁目4番3号

電話 084-932-2345 FAX 084-932-2347

URL: <http://www.city.fukuyama.hiroshima.jp/site/fukuyama-museum/>

駐車場: 68台（特別展・所蔵品展のお客様は1時間無料）

□休館日: 月曜日（祝休日の場合開館、その翌日休館）・年末年始

□開館時間: 午前9時30分～午後5時（特別展開催中は、夜間開館あり）

□観覧料: 所蔵品展／一般300円（240円）※（ ）内は20名以上の団体料金

※特別展の観覧料は別に定めます。※特別展・所蔵品展ともに高校生以下無料
ふくやま美術館の所蔵品展をご覧のお客様は、ふくやま書道美術館「所蔵品展」もご覧いただけます。

◎ふくやま書道美術館（JR福山駅南口から西へ約600m）

〒720-0067 広島県福山市西町一丁目1番1号 エフビコRIM8階

電話 084-925-9222 FAX 084-925-9223

URL: <http://www.city.fukuyama.hiroshima.jp/site/fukuyama-syodo/>

駐車場: エフビコRIM第1、第2、第3駐車場（特別展、所蔵品展のお客様は2時間半無料）

□休館日: 月曜日（祝休日の場合開館、その翌日休館）・年末年始

□開館時間: 午前10時～午後7時

□観覧料: 所蔵品展／一般150円（120円）※（ ）内は20名以上の団体料金

※特別展の観覧料は別に定めます。 ※特別展・所蔵品展ともに高校生以下無料



所蔵品展

春季所蔵品展
「武田五一
コウモリマークを選んだ建築家」
4月6日【水】 - 6月26日【日】

市庁舎や市議会議事堂の設計および市章の選定など、初期の福山市の発展に寄与した建築家・武田五一（1872-1938）。建築模型や写真・絵画などで、その業績を展観します。



武田五一の肖像写真



和田貢《轎の家》

夏季所蔵品展
「画業70年 和田貢」
6月29日【水】 - 9月4日【日】

福山市駅家町出身の日展会員、東光会名誉会員、和田貢（1927-）の初期から現在にいたる画業をたどります。

秋季所蔵品展
「野田正明の世界
—ニューヨークから世界へ—」
9月7日【水】 - 12月18日【日】

福山市新市町出身で、現在ニューヨークを拠点に世界で活躍する野田正明（1949-）。70年代、渡米前後の版画作品から近年の絵画、彫刻作品にいたるまで40年余の足跡をたどります。



野田正明《可能性》2005年

冬季所蔵品展
「森村泰昌
—こうして少年は美術家となった—」
12月27日【火】
— 2017年4月2日【日】



森村泰昌《MNB02》1970年代初期
（10代後半～20代初め頃）

美術家・森村泰昌（1951-）には、ピカソのように様々なスタイルに挑み苦闘した青春時代がありました。2013年に寄贈されたコレクションを初公開し、世界のモリムラが誕生するまでの知られざる若き日をたどります。

スクール・プログラム

小中学生対象のプログラムを行っております。
【対話型の鑑賞】 クラス単位にわかれ、学芸員やボランティアが先生と連携し、児童・生徒の発言を引き出しながら鑑賞します。

お問合せ: ふくやま美術館 084-932-2345 (火～日の午前8時30分～午後5時)

2016 2016 2016
ふくやま美術館
FUKUYAMA MUSEUM OF ART
展覧会カレンダー



岸田劉生《晩春の草道》(部分) 1918年

皇妃エリザベートも愛した名陶

ヘレンド展

4月16日[土] - 6月19日[日]

月曜休館 ※5月2日(月)は開館
開館時間 午前9時30分～午後5時
※6月10日(金)、11日(土)、17日(金)、18日(土)は午後7時まで開館
観覧料 一般1,000円(800円) 高校生以下無料()内は前売りまたは20名以上の団体料金

1826年、ハンガリーで誕生したヘレンド陶磁器は、1851年のロンドン万国博覧会でヴィクトリア女王から注文をうけて以来、皇妃エリザベートよりヨーロッパの貴族を中心に愛用され始めます。本展は代表作<ヴィクトリア>のティーカップやソーサーなどブダペスト国立工芸美術館の所蔵品を中心に約200点で構成、ヘレンド芸術の世界を紹介します。



《色絵金彩「ヴィクトリア」文ティーセットより菓子皿》
1850年頃 ヘレンド磁器美術館蔵

福山市市制施行100周年記念協賛
日本化薬株式会社創立100周年記念協賛

原安三郎コレクション 広重

名所江戸百景・六十余州名所図会を中心に
7月16日[土] - 9月4日[日]

※途中展示替え、前期：8月7日(日)まで、後期：8月9日(火)から
月曜休館 ※7月18日(月)、8月15日(月)は開館、7月19日(火)は休館
開館時間 午前9時30分～午後5時
※8月26日(金)、27日(土)、9月2日(金)、3日(土)は午後7時まで開館
観覧料 一般1,000円(800円) 高校生以下無料()内は前売りまたは20名以上の団体料金

財界の重鎮として活躍した日本化薬株式会社元会長、原安三郎(1884-1982)の収集した浮世絵コレクション展。歌川広重(1797-1858)の代表作である《六十余州名所図会》および《名所江戸百景》の初公開の初摺作品を中心に、葛飾北斎《富嶽三十六景》、歌川国芳《東都名所》など、前後期あわせて230点余によりご堪能いただくものです。



左：歌川広重《名所江戸百景 亀戸梅屋舗》前期
1857(安政4)年原安三郎コレクション
右：歌川広重《六十余州名所図会 阿波 鳴門の風波》後期
1855(安政2)年原安三郎コレクション

福山市市制施行100周年記念事業

ミケランジェロ展 万能の天才の秘密

9月18日[日] - 11月6日[日]

月曜休館 ※9月19日(月)、20日(火)、10月10日(月)、11日(火)は開館
開館時間 午前9時30分～午後5時
※10月28日(金)、29日(土)、11月4日(金)、5日(土)は午後7時まで開館
観覧料 一般1,200円(1,000円) 高校生以下無料()内は前売りまたは20名以上の団体料金

イタリア最大の巨匠ミケランジェロ・ブオナローティ(1475-1564)。偉大な彫刻家であり、システリーナ礼拝堂を彩る画家、サン・ピエトロ大聖堂の設計に携わる建築家でもあった彼は、まさにルネサンスが生んだ万能人でした。本展では、日本初公開作品を含めその自筆デッサンを過去最大規模で出展。「神のごとき」天才の制作の秘密に迫ります。



左：「システリーナ礼拝堂天井画《クマエの巫女》のための習作」
1508-10年 トリノ王立図書館蔵 ©Torino, Biblioteca Reale
右：「背を向けてひざまずく男性裸体像習作」 1540年頃 カーサ・ブオナローティ蔵
©Associazione Culturale Metamorfofi and Fondazione Casa Buonarroti

阿部家ゆかりの日本刀

—小松コレクションと五箇伝の名刀—

11月12日[土] - 12月18日[日]

月曜休館
開館時間 午前9時30分～午後5時
観覧料 一般1,000円(800円) 高校生以下無料()内は20名以上の団体料金

旧福山藩主阿部家ゆかりの《太刀 銘国行》(東京国立博物館蔵)と《太刀 銘国行》(公益財団法人日本美術刀剣保存協会蔵)の国宝2口が、同家を離れて以来初めて福山に里帰ります。あわせて、古来多くの刀鍛冶を輩出し、特色ある作風を展開した山城・大和・備前・相州・美濃のいわゆる五箇伝の名刀を、国宝・重要文化財を中心に紹介します。



国宝《太刀 銘国行》鎌倉時代(13世紀) 公益財団法人日本美術刀剣保存協会蔵

驚きの写実絵画 ホキ美術館名品展

2017年1月21日[土] - 3月12日[日]

月曜休館
開館時間 午前9時30分～午後5時
観覧料 一般1,000円(800円) 高校生以下無料()内は前売りまたは20名以上の団体料金

ホキ美術館は、日本で初めての写実絵画専門館として2010年、千葉市に開館し、近年の美術界における写実ブームの火付け役ともなりました。本展では、野田弘志・森本草介といった第一人者から若手作家まで、人物画・静物画・風景画各ジャンルの写実絵画の名品を、ホキ美術館コレクションにより展観。中国地方初の巡回です。



野田弘志《摩周湖・夏天》1999年
ホキ美術館蔵

教育普及事業

◎第46回世界児童画展

7月29日[金] - 8月7日[日]

世界の児童画と国内・県内の児童・生徒の優秀作品を展示します。

◎第8回ふくやま子ども「生きる」美術展

2017年1月2日[月] - 9日[月・祝] 表彰式：1月8日[日]

児童・生徒のそれぞれの「生きる」をテーマとして個性豊かに描いたみずみずしい作品の中から、受賞作品を展示します。

◎おかざき・ふくやまの子どもたちの交流展

2017年1月2日[月] - 9日[月・祝]

両市の子どもたちの優れた絵画の交流展覧会を開催します。

